

2021年3月22日（月）

札幌市芸術文化財団と連携協定を締結 さっぽろ創世スクエアから地域の文化芸術の発信で協力

HTB 北海道テレビと公益財団法人 札幌市芸術文化財団*（理事長・秋元克広札幌市長）は、3月19日に地域の文化芸術を積極的に発信することを目指して連携協定を締結しました。締結式は同日、札幌市民交流プラザ・クリエイティブスタジオで行われ、秋元理事長と寺内達郎社長が協定書に調印しました。今回の連携協定について、秋元理事長は「財団が持っているネットワークやノウハウと放送局が持っているノウハウや技術とコラボレーションすることで新たな展開の可能性につながることを確信しています。これからも両方で北海道から国内外に発信していきたい」と期待を寄せました。また、寺内社長は「新型コロナウイルス感染症の影響で劇場など芸術文化の発信拠点の賑わいも影響を受けている中、さっぽろ創世スクエアに本社を置くメディアとして、リアルとオンラインの両方で一緒に様々なクリエイティブを発信していきたい」と述べました。

札幌文化芸術劇場 hitaru や札幌文化芸術交流センターSCARTSなどを擁するさっぽろ創世スクエアという”場”が結ぶ札幌初のコラボレーションで、HTBはこれからも地域からの芸術文化の国内外への発信と活動の基盤を支えてまいります。

【連携協定】

(1) 協定締結の目的

公益財団法人札幌市芸術文化財団と北海道テレビ放送株式会社が連携協力し、両者が持つ資産を有効活用することにより、さっぽろ創世スクエアからの地域の文化芸術を発信し、もって地域社会における文化芸術の普及振興に寄与することを目的とする。

(2) 連携協定事項

1. 札幌文化芸術劇場 hitaru で上演する舞台芸術公演の動画配信
2. さっぽろ創世スクエアで展開される様々な文化芸術活動の情報発信
3. 共催事業の実施

*公益財団法人札幌市芸術文化財団

札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール Kitara、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザ（札幌文化芸術劇場及び札幌文化芸術交流センター）の文化6施設の管理・運営をおこなうとともに、市民をはじめ、内外の文化団体、芸術家、芸術事業関係機関と密接なネットワークを構築し、札幌市民の芸術文化の普及、振興に取り組んでいる。

このリリースに関するお問い合わせ
HTB 社長室 斎藤
011-205-7703
メール：rsaitoh@htb.co.jp